

# 日野市社会教育施設（一部）個別施設計画（素案）に対するパブリックコメントの結果について

## 1. パブリックコメント募集の実施概要

- (1) 意見募集期間 令和6年（2024年）2月9日（金曜日） から 令和6年（2024年）3月11日（月曜日）まで
- (2) 意見募集方法 広報・ホームページでの周知  
市内各図書館、中央公民館、中央公民館高幡台分室、七生支所、豊田駅連絡所に素案を設置
- (3) 意見受付方法 中央図書館、中央公民館に持参、郵送、ファックス、Eメール

## 2. 意見・提案数

- (1) 通数 6通（うち1通は住所、氏名が記入されていなかったため、参考意見扱いといたします。）
- (2) 意見数 22件

## 3. ご意見と市の考え方

	素案該当頁	ご意見	市の考え方	計画への反映
1	P.48	標準的な使用年数である築60年を経過しているだけでなく、2Fへのアクセスが階段のみで、エレベーターの設置などバリアフリー化が必要なことから、建て替えには賛成です。現在の日野図書館は、日野宿本陣をはじめとする宿場のイメージ・景観に配慮した建物になっています。新しい建物もぜひ、まちの景観に配慮し、親しみを感じる外観・内観になるよう設計していただきたいです。	施設の改修等に当たっては、バリアフリー、ユニバーサルデザイン化を進める方針です。（素案P.53） 公共施設の新設や大規模修繕に当たっては、まちや周囲の景観に配慮することは大切なことと考えます。 建物更新の設計の際にはいただいたご意見を参考にしながら進めていきたいと考えます。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。

2	P.6 P.48	<p>日野図書館と郷土資料館が複合化するのもひとつの案だと考えます。日野図書館と郷土資料館が複合化されれば、司書だけでなく学芸員も対応可能となり、地域に根ざした新しい学びも創出されるのではないのでしょうか？</p> <p>6 ページ表 2 - 2 日野市公共施設等総合管理計画（改訂版）の概要に「中央公民館は、日野宿周辺施設と一体で複合化を検討する」とありますが、日野宿周辺地区だけでなく、視野を広げ、日野市郷土資料館も含めた日野市全体の公共施設の再編成、再配置、複合化も、ぜひ検討いただきたいです。</p>	<p>日野本町地区には、日野図書館をはじめとして、中央公民館や児童館など老朽化した施設が多く、早急な対応が必要とされています。一方、「日野市公共施設等総合管理計画（改訂版）」（以下、「総合管理計画」）では、「縮充」の考え方により、施設面積を減らしながらサービスを充実させていく方針（総合管理計画 P.39）で、これに基づいて周辺施設の複合化をこの素案の中で計画しています。ただし、日野図書館、または中央公民館と他のどの施設を複合化するかは、今後の検討課題です。いただいたご意見を参考にしながら、日野本町地区の施設統合を優先的に進めていくことに加えて、新たな建物の面積や規模に応じて、郷土資料館などとの複合化も検討していきたいと考えます。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
3	P.48	<p>日野図書館だけでなく、日野宿周辺施設と一体で複合化となれば、地域全体のまちづくりに係ることです。ぜひ、あらゆる市民の合意形成が図られるよう、早急に段階を追った住民説明会や意見交換会などの開催を計画し、設計、施工までのプランをお示ください。</p>	<p>素案 P.62 に「個別施設の更新や複合化等の方向性検討に際しては、図書館協議会、公民館運営審議会、施設利用者・団体および地域住民への説明会、アンケート・パブリックコメントの実施などを通して、合意形成を図りつつ、計画を推進します。」とあります。これに基づいて、複合化案や設計等の節目において説明会やアンケート・パブリックコメント等を実施していきます。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
4	P.48	<p>日野図書館は日野宿発見隊の拠点となっています。毎月第 4 土曜日の閉館後の日野図書館に隊員が集い、日野図書館の職員の皆さんと一緒に活動に関して意見を交わすことに重きを置いています。公民館</p>	<p>第 4 次日野市立図書館基本計画（以下、「基本計画」）で、「まちのアンテナとしての日野宿発見隊をサポートします」とし、日野宿発見隊の活動が街の活性化につながるよう、引き続き活動を支援することとして</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>

		等の貸室等では会の趣旨に沿わないものと考えています。複合化に際しては、現状の運営が続くよう、管理等を含めてご配慮願います。	います（基本計画 P.34、P.41）。 複合化等により、新たな施設になっても、その施設の機能を活かしながら、日野宿発見隊の活動を引き続きサポートする方針です。	
5	P.63 P.64	国民の基本的人権「知る権利」を守るため、図書館サービスはあくまで民間ではなく、行政が担うべきであり、図書館の民営化には反対です。日野宿発見隊は、身近な行政の窓口として日野図書館の職員と一緒に多岐にわたる活動を行ってきました。上記に書いた活動の数々は、すべて行政と連携した、いわゆる「協働」であったからこそ実現できたものです。図書館サービスが民間委託されること、それはすなわちこれまで培った日野市立図書館と市民の信頼関係を断つものです。よって、断固反対します。	本計画の対象施設は、いずれの施設も直営での施設運営を行っており、当面はこの方針を継続する方向性です。しかし、今後の市全体の方針や取り組みの流れに柔軟に対応できるよう、各施設のハード面に要求される性能を整理するなど、民間活力導入に効果検証に等に必要な情報の蓄積などを行うことは必要と考えます。 なお、素案 P.64 に「市では包括施設管理業務の導入の検討を進めており」とあります。包括施設管理用務とは、複数の公共施設の維持管理業務を包括的に管理するもので、施設の適切な維持保全を実現するための維持管理方法です。図書館や公民館だけでなく、市全体の施設の維持保全を、民間活力を導入して行うことを検討するものです。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
6	P.39	社会教育施設の施設維持管理において、地球温暖化対策を考慮した高効率・省エネルギー型のエネルギー設備導入促進は重要な施策であり賛同します。 更には、高効率・省エネルギーに加えレジリエンス性も高い停電対応型 GHP（ガス・エンジン・ヒートポンプ）やコージェネレーションシステム等の省エネルギー設備導入検討も必要と考えます。	施設の改修等にあたっては、施設全体での脱炭素化を推進する方針です。（素案 P.53） いただいたご意見については、施設を整備する際の参考とさせていただきます。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。

7	P.40	<p>下記の通り、下線部分の追記を提案します。</p> <p>&lt;追記案&gt;</p> <p>複合化や共用化、多機能化にあたっては、学びの循環による地域コミュニティの形成、持続可能なまちづくりへ寄与する施設整備を実現するため、各地域の「学びの場」の拠点である学校施設や同類型施設との複合化とともに、<u>防災・減災の視点も加味した多機能集約化</u> について優先検討します。</p> <p>上位計画の公共施設等総合管理計画（P.43、第二章）にも、市民や利用者の安全を最優先にすると示されています。したがって、本素案の図書館7施設、公民館2施設において予備的避難施設や指定避難場所・一時滞在の施設としての指定がされる社会教育施設には、災害による大規模停電発生時の避難所機能を確保する為、72時間を超える停電に対する備えとして停電対応型 GHP などの自律分散型エネルギー等のエネルギーの自立化・多重化の確保が重要と考えます。</p> <p>また、防災・減災対策との横断的連携により推進していく施策については、フェーズフリーの考え方を含む多角的な視点から検討するなど柔軟な考えを取り入れていく必要があります。</p>	<p>いただいたご提案は、施設を整備する際に防災・減災も留意して実施すべきとの趣旨と受け止めます。</p> <p>素案の中に、「第6章 施設整備水準の考え方」（P.53）という章があり、その中に「第1節 改修等の整備水準」という節があります。このなかで物理的側面、機能・社会的側面から留意すべきことが箇条書きで列記されています。この機能・社会的側面の中に、「&lt;防災対策&gt;図書館や公民館の中には予備的避難所に指定されている施設があることから、施設の改修等にあたっては、地域防災計画との整合性を図るなかで、避難施設としての視点も考慮した整備に努めます。」の文を追記します。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。</p> <p>左記のとおり、素案に追記をします。</p>
8	P.53	<p>太陽の光や自然の風を取り入れるなどの自然エネルギーの利用等による省エネルギー性能（=パッシブデザイン）の導入と共に、安定的に省エネ性を補う設</p>	<p>施設の改修等にあたっては、施設全体での脱炭素化を推進する方針です。（素案 P.53）</p> <p>いただいたご意見については、施設整備の際の参考</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いま</p>

		備・システムの高効率化技術であるアクティブデザインの検討が不可欠です。風水害等天候不良時の再生可能エネルギーのデメリットとして、親和性の高いCGS(コージェネレーションシステム)・停電対応型GHP導入を提案いたします。脱炭素社会を実現するためには、様々な環境負荷低減の取り組みや配慮が必要であり、建物のエネルギー消費性能の向上に加え、エネルギー効率の高い機器の採用による省エネルギー化は極めて重要になります。	とさせていただきます。	せん。
9	P.48	日野図書館 バリアフリー化(エレベーターの設置)を希望します。	施設の改修等に当たっては、バリアフリー、ユニバーサルデザインを進める方針です。(素案P.53) 日野図書館については、エレベーター設置などのバリアフリー化が課題と考えています。施設の複合化の際に、バリアフリー化を図ります。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
10	P.48	日野本町周辺地区の公共施設との複合化に際しては、床面積を維持してください。	上位計画である日野市公共施設等総合管理計画で縮充という考え方を取り入れています。これは、施設総量は縮減しつつも公共サービスを充実させていくという考え方です(総合計画P.39)。複合化に際して、トイレ等が共有化されることにより、総面積を減らしていくのが、複合化のメリットです。 この計画の策定に当たって実施したアンケートによると、「本や雑誌を快適に閲覧できる機能」「蔵書を多く所有できる機能」を求めている方が数多くいました。このことも踏まえながら、今後検討していきます。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
11	P.15	施設の概要の設置目的欄について、語尾が「～資する	標記方法を統一します。	市の考え方は左記

		ため」「～資するため。」「～資する」などバラバラなため、「～資するため」に統一してはいかがでしょうか。		のとおりです。左記の通り素案を変更します。
12	P.15	補足欄の文章について、句点が抜けています。	句点を入れます。	市の考え方は左記のとおりです。左記の通り素案を変更します。
13	P.18	設置根拠欄だけ条例名の後に制定年月と思われる記載をしているのは理由があるのでしょうか。	多摩平図書館にだけ、条例制定年月日が入っていました。とくに理由はありません。他の施設にあわせて条例制定年月日を削除します。	市の考え方は左記のとおりです。左記の通り素案を変更します。
14	P.18 P.38 P.40	次の 3 か所について、文章中に不要な空白があります。  18 ページの構成諸室欄 ～多摩平図書館、たまだいら児童館、地域子ども家庭支援センター多摩平 のうちの多摩平図書館部分  38 ページ ～教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験者 8 名、公募による市民 2 名で～  40 ページの 2 段落目 ～施設との複合化、多機能集約化 について優先検討します。	不要な空白を削除します。	市の考え方は左記のとおりです。左記の通り素案を変更します。
15	P.47	「当館は古い建物から新館として開館するにあた	古い建物から新館として開館したのは、昭和 55 年度	市の考え方は左記

		り、地域住民の要望が活かされた図書館となったことから」の「当館は古い建物から新館として開館するにあたり」は過去のお話だと思いますが、「当館は昭和〇〇年に古い建物から新館として開館するにあたり」といつのことか明記したほうがわかりやすいと思います。	です。このことを追記します。	のとおりです。左記の通り素案を変更します。
16	P.48	「利用者から親しまれている現在の雰囲気や、立地条件、駐車場を希望する利用者の声を踏まえ、市内の基幹的な分館機能を、日野本町周辺地区の公共施設との複合化にて目指すこと」について、複合化の方向性に反対ではありませんが、現在の建物は更新せずに、どのようにして「利用者から親しまれている現在の雰囲気」を維持するのでしょうか。	職員と地域の利用者が親しくあいさつを交わしたり、利用者が普段着で気軽に来れるという関係をこれまで築いてきました。そのため、施設規模は小さいものの、利用率は高くなっています。 この雰囲気を、複合施設になった後も大切にしていきたいと考えます。 図書館は「だれもが利用しやすく、魅力のある図書館をめざす」ことを基本方針とし、全館で「だれでも気軽に立ち寄れる雰囲気づくり」を進めています(基本計画P.24)。この方針は単独、複合化など施設の形態によって変わるものではなく、大切に続けてまいります。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
17	P.49	現状課題欄に「駐車・駐輪場の増設が求められています。」と記載されていますが、対策内容(方向性)欄にはそのことが触れていません。駐車・駐輪場の増設について、検討や対策は行わないのでしょうか。この計画では、駐車・駐輪場の増設は対象外(関係のないこと)でしょうか。	現状の利用状況から、駐車場・駐輪場が不足していることは課題となっていますが、周辺に新たに駐車場・駐輪場の候補地がなく、さらに検討を続けていかなければならない課題と認識しています。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
18	P.62	改修・修繕の3つ目の灰色の枠に何も書かれていませんが、この枠は必要でしょうか。	この枠に「点検による修繕」を追加します。	市の考え方は左記のとおりです。左

				記の通り素案を変更します。
19	P.64	全て体言止めにもかかわらず、句点が付いた文と、付いていない文が混在しています。ポイント欄では、全て句点を付けないことにしてはいかがでしょうか。	ポイント欄では句点をつけないこととします。	市の考え方は左記のとおりです。左記の通り素案を変更します。
20	P.1	<p>成熟社会に向けて市の財政の負担が懸念される中ですが、生涯全般にわたって学びの必要性が求められており、市民個人、地域コミュニティをつなぐ学びの場としての施設重要度が一層増していくとあります。</p> <p>→日野市は高度成長期のベットタウンとして人口の急増したまちで、地域コミュニティに弱い感があり、防災・防犯力を高め安全安心な地域形成のためにも「地域コミュニティをつなぐ学びの場」、として社会教育施設を位置づけが重要と感じます。単なる財政負担軽減のための効率的(面積減らし)な施設計画に陥ることのないようこれからの豊かなまちづくりを強く意識した計画として頂きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己形成の機会が増す施設の在り方</li> <li>・高齢化(交通弱者)に対応した身近な施設配置</li> <li>・まちの魅力を高めすべての層(特に若者)が住みたくなる施設整備</li> <li>・まちの衰退を留める施設配置(駅周辺の活性化)</li> </ul> <p>などの視点も改めて確認いただきたい。</p>	<p>素案の中で、図書館・公民館には、市民個人による「学び」の実践と地域コミュニティからのフィードバックからなる「学びの循環」を実現することで、持続可能な地域づくりに寄与することが求められているとされています(素案 P.16)。このことから、ご意見の通り施設重要度が一層増していくと考えます。</p> <p>施設の立地については、各地域の鉄道駅を中心に、基幹的な施設を配置し、市内全域でのサービス展開に必要な機能は、市内各所に存在する各施設との共用化や多機能化などによる利活用によることを基本方針としています。</p>	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
21	P.1~2	P.1 本計画の位置づけ	日野市公共施設等総合計画の対象とする公共施設等	市の考え方は左記

		<p>「日野市公共施設等総合計画を上位計画とする」とあります。</p> <p>上位計画（2023年3月改訂）P.43 基本理念に『市民ニーズやまちづくりに対応し続ける公共施設マネジメント』とあり、P.45④には、「まちづくりを踏まえた公共施設等のマネジメントを実施すること」では地域特性を活かし、「集約拠点」、「地域拠点」、「生活拠点」とあります。</p> <p>→上位計画では、市民ニーズ、まちづくりに対応した施設配置の重要性が位置づけられていることを感じます。</p> <p>P.2、第4節 対象施設では、既存施設のみをベースとした計画となっています。</p> <p>→上位計画に位置づけられたまちづくりの視点、これからの施設の働きを踏まえた図書館サービス網（施設配置）、公民館配置のあるべき計画の検証が先ず必要に感じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館設置計画に関する調査研究（1972年）</li> <li>・日野市立図書館の現状と当面する諸問題について（1995年）</li> </ul> <p>上記の報告書のように詳細な検討を行い、個別施設計画を行うべきではないでしょうか。</p>	<p>は、本市が所有する建築物及びその他の工作物としてあります（総合計画P.3）。これを受けて本素案は、既存の施設の方向性を定めたものとしてあります。</p> <p>「図書館設置計画に関する調査研究」（1972年）及び「日野市立図書館の現状と当面する諸問題について」（1995年）は、南平地域をはじめ、新たな分館の設置を計画したものと認識しています。</p> <p>素案「第5章 社会教育施設整備の基本方針」において、現状や課題を検討し、社会教育施設の適正配置に関し、方針を定めております。</p> <p>複合化による施設の移転先の検討の際や、今後10年ごとの計画見直しの際には、地域性等も考慮して現在の配置を見直すこともあると考えます。</p>	<p>のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
22	P.48	<p>日野図書館 現状と課題に、利用率は高く、カウンター職員と地域の利用者が親しくあいさつを交わす光景も見られます。とあります。</p> <p>→このような関係が生まれるサービス、施設配置が</p>	<p>日野図書館で日常的に見ることができる光景が、市内社会教育施設のいたるところで見れば、ご意見のように安全・安心なまちづくりのベースとなると考えます。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>

		<p>出来れば安全・安心なまちづくりのベースとなるのではないのでしょうか。</p> <p>駅周辺には、このような信頼関係が生まれるきっかけの公共施設が必要に思います。</p>	<p>図書館は「だれもが利用しやすく、魅力のある図書館をめざす」ことを基本方針とし、日野図書館に限らず全館で「だれでも気軽に立ち寄れる雰囲気づくり」を進めています。(基本計画P.24)</p> <p>また、素案では立地については、各地域の鉄道駅を中心に、基幹的な施設を配置することとしています(素案P.40)。</p>	
--	--	---	---	--